和歌山県教育委員会認可通信教育

陵雲

発行所
和歌山県立きのくに青雲高等学校（通信制課程）
和歌山市吹上5－6－8
TEL073－422－8402
FAX073－422－4045



桃源郷　一面に満ちる春　（紀の川市）

令和七年度 第十二回卒業証書授与式

式辞



校　長
宮本　裕司

厳しい冬の寒さもようやく和らぎ、校庭の木々も春の支度を始めた今日の佳き日に、多くのご来賓の皆様のご臨席を賜るとともに、保護者の皆様のご出席のもと、和歌山県立きのくに青雲高等学校通信制課程、卒業証書授与式を挙行できますことは、本校にとりましてこの上ない喜びであります。

ただ今、卒業証書を授与した86名の卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。

また、今日まで昼夜を分かたず、お子様を支え、励まし続けてこられました保護者の皆様、ご家族の皆様に、心よりお祝いを申し上げます。

皆さんが本校で過ごした数年間、とりわけ最終学年となった令和7年は、社会が大きな転換点を迎えた年でもありました。

「いのち輝く未来社会のデザイン」をテーマに掲げた大阪・関西万博が開催され、世界中の英知が集結しました。「空飛ぶクルマ」や自動翻訳技術など、かつて私たちが夢見た「未来」が、もはや「現実」となりつつある光景を、私たちは目の当たりにしました。

しかし、デジタル化が急速に進み、生成ＡＩが最適解を瞬時に導き出す便利な世の中になったからこそ、逆説的に、皆さんがこの通信制高校で積み重ねてきた「アナログな経験」の価値が、今、輝きを増しています。

皆さんの高校生活は、決して平坦なものではなかったはずです。

一人で勉強する方法がわからずリポート作成に行き詰まったこと、仕事やアルバイト、あるいは家事や育児等に疲れてしまいスクーリングに登校することが億劫になったこと、単位修得のためのテストに悪戦苦闘したこと、卒業を諦めかけたことも幾度とあったことと思います。年齢も背景も異なる仲間たちが、それぞれの事情を抱えながら、同じ教室で机を並べ、単位修得にいそしんだ日々。

ＡＩは、「正解」を出すことはできますが、皆さんが経験したような「葛藤」や「痛み」、そしてそれを乗り越えた時の「喜び」を心で感じることはできません。

悩みを抱えながら学び抜いた、その苦しくも尊い日々こそが、仮想空間ではない、確かな現実を生き抜くための「人間としての重み」となるのです。

万博が問いかけた「未来社会のデザイン」。それは、だれか偉い人が決めるものでも、テクノロジーが勝手に作るものでもありません。

今日、ここを巣立つ皆さん一人一人が、自分の人生をどうデザインし、どう生きていくかという意志そのものです。

通信制で培った、多様な価値観を認める優しさと、困難に立ち向かう強さ。これらは、不確実なこれからの社会において、最も必要とされる羅針盤となるはずです。

皆さんは、自分の時間を切り拓き、自らの足でここに辿り着きました。その事実に、どうぞ胸を張ってください。

卒業に当たり、はなむけとして「雲外蒼天」（うんがいそうてん）という言葉を贈ります。「困難を乗り越え努力を続ければ、その先には必ず良い結果や希望が待っている」という意味です。

これから歩む道には、まだ誰も正解を知らない課題が待ち受けているかもしれません。しかし、不安や困難と向き合いながら未来を見つめていた皆さんなら、必ずや新しい時代の光を見つけ出すことができると信じています。

結びに、皆さんの前途に幸多からんことを祈念し、また、本日ご列席の皆様のこれからのご健勝をお祈り申し上げ、式辞といたします。

教育委員会告辞

校庭の木々の芽のふくらみにも、春の訪れが感じられる今日、卒業式を迎えられた皆さん、御卒業おめでとうございます。

今、皆さんの脳裏には、仲間と励まし合い、切磋琢磨した思い出が、次々と浮かんでいるのではないでしょうか。また、御家族や先生方をはじめ、皆さんの成長を支えてくださった方々への感謝の気持ちが湧き上がっていることと思います。様々な悩みや苦労を乗り越えて、この日を迎えられた方もいるでしょう。これらの思いを胸に、新たな門出に立つ皆さんに、心からお祝いを申し上げます。

今年、昭和元年から起算して満百年を迎えます。昭和、平成、そして令和という三つの時代を経て、今日を迎えています。

昭和の時代は、戦争という悲しい歴史を経験しながらも、戦後の復興と高度経済成長を遂げ、日本は世界に誇る産業国家へと成長しました。平成の時代は、バブル崩壊や情報化社会の到来という社会構造の転換が起こるなど、大きな変化に直面しました。そして令和の時代。ＡＩが急速に進化し、社会への実装が進む中で、改めて人としてどうあるべきかが問われています。

大阪大学の坂口志文（さかぐちしもん）氏は、免疫応答を抑制する「制御性Ｔ細胞」を発見し、日本人としては令和になって初めて、ノーベル生理学・医学賞を受賞しました。坂口氏の座右の銘は「一つ一つ」。受賞に際し、次のように述べています。

「自分で興味のあることを大切にし、それを続けることで新しいものが見えてくる」

この言葉は、皆さんがこれから人生を歩むうえで、大きなヒントになるでしょう。

卒業生の皆さん、これからの時代は、過去のどの時代よりも変化が速く、予測が難しい時代です。しかし、どんな困難も、人の知恵と努力で乗り越えることができます。そして、その努力は、一度に大きなことを成し遂げるのではなく、「一つ一つ」積み重ねることから始まります。

皆さんには、新しい価値を創造する力、挑戦する勇気、そして果てしない可能性があります。和歌山の豊かな自然と受け継がれてきた歴史や文化を誇りに思いながら、世界へと羽ばたいてください。皆さんの活躍を心から期待しています。

結びに、お子様の成長を愛情深く見守ってこられた保護者の皆様に、心からお祝い申し上げますとともに、同窓会や振興会、地域の方々の御支援、学校長をはじめ教職員の皆様の熱意あふれる御指導に対し、深く感謝の意を表しまして、お祝いの言葉といたします。

送辞



在校生代表

穏やかな春の光が校舎を包み込み、新たな季節の訪れを感じる今日、卒業生の皆様、ご卒業おめでとうございます。在校生を代表して、心よりお祝い申し上げます。

本校での学校生活は、一人一人歩み方が異なり、それぞれの時間の積み重ねの中で成り立っていたのではないかと思います。毎日顔を合わせる機会が多い環境とは違い、この場所では、自らの意思で学びを重ね、自らの力で前へ進んでいく姿がありました。

卒業という今日の日は、決して偶然ではなく、日々の選択と努力の結果なのだと思います。目立つ場面ばかりではなく、誰に知られることのない時間の中で、自分と向き合い続けてこられたこと。それが、今日という日につながっているのではないでしょうか。この学校で学ぶということは、自ら考え、自ら行動し、自ら責任を持つことでもあったと思います。だからこそ、ここで卒業を迎えられる皆様の姿からは、静かで確かな強さを感じます。

皆様がこれまで歩んでこられた道のりのすべてを、私たちが知ることはできません。けれども、その一歩一歩が本物であったことは、今日ここに立たれている姿が何よりも物語っているように思います。

これから先、新たな環境の中で迷いや困難に出会うことがあったとしても、本校で積み重ねてこられた経験は、必ず皆様の支えとなるはずです。

どうかこれからも、自ら選び、自ら歩む力を信じて、それぞれの未来へと進んでいかれますことを願っております。

私たち在校生もまた、先輩方の姿を胸に刻み、それぞれの歩みを大切にしながら、この学校の伝統を受け継いでまいります。

最後になりますが、卒業生の皆様の今後のご健康とご活躍を心よりお祈り申し上げ、送辞とさせていただきます。







答辞



卒業生代表

肌寒い風が吹きつつも、暖かい日差しに春の訪れを感じる今日この佳き日、私たち卒業生のためにこのように厳かで、晴れやかな卒業式を挙行していただき、心より感謝申し上げます。これからの未来に対して、期待や不安が入り混じる中、こうして無事旅立ちの日を迎えることができました。本当にありがとうございます。

今振り返ると、きのくに青雲高等学校通信制課程での日々は濃密で、私にとってかけがえのない学びに満ちた日々でした。

私は、4年前の令和4年4月に本校に入学しました。それまで働いていた職場に馴染めず、引きこもりになってしまい、そんな自分を変えたくて本校に入学しました。通信制課程を選んだのは、週2日のスクーリングと自宅でのリポート学習が基本で、自分のペースで学習ができる点に魅力を感じたからです。入学式の日、高校の学習についていけるか不安でしたが、同時にこれから始まる学校生活に胸が躍る気持ちでした。

1年生の時、環境が変わったことで挑戦したい気持ちが湧き上がり、文化委員になり、更には文化祭で実行委員長を務めました。無事に終えると多くの先生方に褒めていただき自信がつきました。学習面では、勉強が苦にならない私にとって自学自習は相性がよく、順調に進みました。真っ白だった学習記録表が埋まっていくと達成感が生まれ嬉しかったです。しかし逆に根を詰めすぎて苦しくなった時があり、それからは息抜きを心がけるようになりました。

2年生で最も印象深かったのが、生活体験発表大会です。「私の3パーセント」という題名で私は本校に入学するまでの出来事を赤裸々に語りました。決して明るい話ではありませんが、先生方や生徒の皆さんは最後まで真剣に聴いてくれ、また多くの労いの言葉をいただき、思わず涙ぐんでしまうほど嬉しかったのを今でも良き思い出として心に深く残っています。近畿大会では他校の生徒の発表を聴きました。様々な人生の軌跡を聴き、いくつもの壁を乗り越えて、学校生活を送っている生徒の皆さんに尊敬の念を抱くようになりました。そして私は将来教育格差をなくし、困っている子どもたちの支えになる仕事に就こうと決心しました。

3年生になり社会福祉士になるために大学進学を目指しました。しかし様々な事情が重なり、大学進学を見据えつつ、先ずは就職することになりました。当初は、私は進学することしか考えていなかったので、就職に気持ちを向けられず、くやしくて泣きましたし、学習も身に入らず、母に辛く当たる日もありました。しかし母は、そんな私に一切怒ることはせず、常に寄り添ってくれました。長い間お世話になっている若者サポートステーションのスタッフの方も「道は一つではない」と根気強く励ましてくれました。おかげで少しずつ気持ちが落ち着き、今は休むべきだと割り切ることで、心の休養に専念できました。3年次は大きな挫折をした1年でしたが、この経験によって自分と向き合うことで多くの人に支えられていることに気づかされた1年でもありました。



4年生では再び、私の人生がかかった挑戦が待ち受けていました。就職活動です。学習とアルバイトで手一杯になってしまい、活動を本格的に始めたのは12月からでした。特に就職担当の先生にはたいへんお世話になり、言葉一つ一つに私への信頼や期待が詰まっているのを感じ、身が引き締まる思いで面接に臨むことができました。他にも様々な方々にたくさん応援していただき、感謝の気持ちでいっぱいです。4月から新社会人として経験を積み、社会福祉士になるという将来の夢を叶えるために一層邁進してまいります。

4年間の高校生活で、私は「学ぶ」ことの楽しさや大切さを実感しました。挑戦に失敗は付きものです。しかし、その失敗も「自分の人生に必要だった」と気づけば、成功へつながる「学び」だったと納得できました。

突然ですが、皆さんは「勉強」と「学ぶ」の違いをはっきりと説明できますか。私にとって、勉強は「答えを知ること」です。「学ぶ」については、人によって色んな解釈があると思いますが、私にとっては前に述べた、「自分と向き合う」ことです。私がそのことに気づけたのは「勉強」と「学び」の場であるきのくに青雲高校があったからだと思います。きのくに青雲高校が私に機会を与えてくれ、その機会を自分の意思で掴んだからこそ、私は成長できたのだと感じています。

在校生の皆さん、学校は色んなチャンスに出会えるところです。たくさん挑戦して、もしも挫折した時は、どれだけ時間がかかっても、それを乗り越えていく方法を見つけてください。一度立ち止まることになっても、学校は皆さんを見放しはしません。しかし、必ずしも学校に皆さんの求めるものがあるとは限りません。そんな時は視野を広くして、他の場所に目を向けてみてください。自分らしくいられる環境の中に、思わぬ収穫があるかもしれません。皆さんのこれからの高校生活が、豊かな学びにあふれたものになりますよう、遠くから応援しています。

最後になりましたが、今日まで温かくご指導いただきました先生方、私たちを支えてくれた家族、ともに努力を重ねた友人に心より感謝申し上げるとともに、きのくに青雲高等学校の更なるご発展を祈念し、答辞といたします。

記念品贈呈



卒業生代表

卒業生クラス写真



卒業生の皆さんへ 担任からのメッセージ

3A 吉村 曇子

ご卒業おめでとうございます。

入学してから経験したことや感じ考えたことを想い出しつつ新生活への不安と期待感でいっぱいのことと思います。そんなあなたの新しい門出にあたり「おめでとう」の言葉を贈ります。

これまで以上に、いろいろな人々と出会うことでしょう。どんな出会いも、ひとつとして無駄なものはありません。「人」を大切にできる、そんな大人になってください。

3B 藤原 広子

のろくても　いいじゃ　ないか
新しい　雪の上を
歩くような　もの
ゆっくり歩けば
足跡が
きれいに　残る

（「雪の道」星野富弘）

十人十色。それで人の世が成り立っているのだと思います。

皆さんの人生に、素敵なことがたくさんありますように。

3C 加山 千裕

ご卒業おめでとうございます。

高校生活はいかがでしたか。

日々の仕事や家事に追われつつ焦りの中でリポートを仕上げたこと、試験の結果を心配な思いで待っていたこと、中々学習が進まず苛立ちさえ覚えたこと。たくさんのことが思い出されますね。

本校でみなさんに出会い共に学び合えたことに感謝しています。卒業に至るまで本当によく頑張ってこられましたね。心より敬意を表します。またどこかで会いましょう。SEE YOU

3D 西澤 徹

ご卒業おめでとうございます。

通信制での学びは、自ら動いた分だけ道が開ける世界です。その経験は、これからの人生において必ず力になります。辛い時も苦しい時もあったでしょう。でも乗り越えられたのは、あなた自身の粘り強さと、支えてくれた人々、そして当たり前の日常があったからこそです。感謝の心を持ち続けることは人生を豊かにする最良の習慣です。家族や友人の存在、日々の当たり前のことに感謝を忘れず、これからも歩んでいってください。応援しています。

4A 坂下 千江子

悲観主義は気分によるものであり、楽観主義は意志によるものである。

（フランスの哲学者　アラン）

日々、天気のように変わる気分は、放っておくと悪い方向に自分を追い詰める傾向にあるそうです。そんな時、アランは「こうなりたい」「だからまずはこうしてみよう」という小さな態度の選択と実践の積み重ねが有効だと唱えています。

堅苦しく聞こえますが、自学自習が基本の通信制で卒業を迎えたみなさんは、もうすでに経験していることだと思います。これから先、気分に支配されて行き詰まった時、このことばが卒業にたどり着いた自分を思い出させ、勇気づけてくれることを願っています。

4B 木村 雅紀

ミラノ・コルティナ五輪フィギュアスケートのりくりゅう（三浦璃来・木原龍一）ペア・フリーの演技に涙があふれました。

ショートプログラムで失敗してからの大逆転。試合後の高橋成美さん（木原龍一の元ペア）の「諦めない強い気持ちは階段になって頂上まで連れて行ってくれる」という言葉は、卒業生の努力と重なります。通信制をやり抜いた皆さんの成果は本当に素晴らしいものです。自信を持って未来へ羽ばたいてください。卒業おめでとうございます。

4C 南 珠美

ご卒業おめでとうございます。

今年度は大阪・関西万博から始まり、大谷翔平選手ら日本人メジャーリーガーの活躍、日本初の女性首相高市早苗氏の誕生、ミラノ・コルティナオリンピックでの日本人選手の多くのメダル獲得など日本中が盛り上がった1年でした。そして締めくくりは皆さんの卒業で私自身大変幸せな気持ちになりました。

これからの皆さんの未来が輝かしいものでありますよう心よりお祈りしています。

4D 丸山 慶子

ご卒業おめでとうございます。

良い思い出も苦い経験も、年齢と共に積み重なります。しかし、最近の行動を忘れても、昨日のように鮮明に思い出されることは、一生懸命に頑張ったこと、凄く辛い過去、心が動いた事象、きっと命が尽きるまで忘れないでしょう。その記憶と、うまく付き合っていくことが必要です。有限な環境や能力のもと、自分とその周囲の今を大切にしましょう。

あなたにとって大切なことは？

4E 城山 千佳

自学自習で決定した卒業、感慨もひとしおだと思います。「ひとしお」は漢字で「一入（ひとしお）」と書きます。染め物を染め汁に一度浸すことから由来して、何度も浸すことで色が濃くなることから「いっそう、ひときわ」という意味になったそうです。この卒業を力に「再入（ふたしお）」「八入（やしお）」に向かって前進を！と願っています。みなさんの「これから」を楽しみにしています。

ほんとうによく頑張りましたね。

ご卒業おめでとうございます。

4F 山口 準子

「春風接人　秋霜自粛」

佐藤一斎

春の風のように人には優しく、秋の霜のように自らを厳しく律していく、そんな姿勢を表す言葉です。

人生には予測できないことも多く、努力が必ず報われるとは限りません。それでも、積み重ねたものが思いがけないところで力になることもあります。だからこそ、自分も周りの人も大切にしながら、どんな時も前を向いて歩んでいってほしいと思います。

皆さんのこれからの道が、春風のようにあたたかく、そして力強く広がっていくことを願っています。

副担任 上田 賢司

ご卒業おめでとうございます。

先日読んだ伊坂幸太郎さんの作品に、言い古された言葉ではありますが、印象に残るフレーズがありましたので、みなさんへの餞に贈りたいと思います。

「他人と過去は変えられない。自分と未来は変えられる。」

みなさんの未来に幸多きことをお祈りしています。

卒業の日を迎えて

自分のペースで

4年

私は、今から6年前にきのくに青雲高校に入学し、中学生の頃には想像もできないくらい、「自分」というものが豊かになりました。

入学前は、自分のことが好きではなくて、自己嫌悪から人と関わることを避けていました。しかし、通信制に通いはじめ、平日を自由に過ごせるようになったことで、心に少しゆとりができ、気持ちが前向きに変化していきました。初めの2年間はコロナ禍だったこともあり、思うように学習を進められず、卒業できるか不安でした。自己を見つめて、3年目からは様々なことに挑戦するようにしました。クラブ活動に参加したことをきっかけに、少しずつ自信がつき、友人ができ、自動車免許を取得し、アルバイトも経験しました。私にとってはどれも大きな出来事でした。

この6年間は、この先の人生を歩んでいく私の大きな力になると思います。

最後に、きのくに青雲高校の友人、先生方には、大変お世話になりました。本当にありがとうございました。

支え

4年

高校2年生の8月、私はきのくに青雲高校に転入学しました。最初の1年間はほとんど学校には行かず、家で過ごす日々を送っていました。高校3年生の秋、修学旅行に参加し、友人ができました。卒業の今日まで、とても心の支えになった良い友人です。私はマイペースな人間なので、理想通りに学習が進むことはなかったのですが、周りの家族や友人、先生方のサポートのおかげで無事に卒業することができました。

そして最後に、入学生や在校生の皆さんの中には、様々な感情や事情を抱え込んで、悩んでいる人もいると思いますが、この学校にはきっと支えになってくれる先生や友人がいると思います。自分自身を大切にして、楽しい高校生活を送ってください。

先生方、今までありがとうございました。



旅立ち

3年



私が本校に転入学したのは、高校2年生の夏、体調を崩して全日制の前籍校に通うことが困難になったことがきっかけでした。

はじめはわからないことばかりで、自分で計画を立てて学習を進められるのか不安でしたが、その反面、今まで体験したことのない通信制のシステムに大変興味を持ったことも覚えています。しかし、実際に学習を進めていく中で、計画通りに学習を進められなかったり、リポートの提出など思い通りにいかなかったりしたこともたくさんありました。

そういった中でもこうして卒業することができ、4月から大学生として新しいスタートをきることができるのは、たくさん進路の相談等にのっていただいた担任の先生をはじめ、支えてくださった先生方のおかげです。

これからもきのくに青雲高校で学んだことを糧に、努力し続け、感謝の気持ちを忘れず歩んでいきたいと思います。約1年半の間、本当にありがとうございました。

感謝

3年



卒業の日を迎え、私の心には感謝の気持ちが溢れています。きのくに青雲高等学校での3年間は、自学自習を通じて自分自身と向き合う貴重な時間でした。

毎日の勉強は時に孤独で辛いものでしたが、そんな中、私を支えてくれたのは先生方の存在でした。たくさんの先生方が親身になって相談に乗ってくれたりアドバイスをくださったりしたおかげで、無事に卒業を迎えることができました。きのくに青雲高等学校の先生方や友人には大変お世話になり、たくさんのことを学ばせていただきました。この場をお借りして、心より感謝申し上げます。

最後に、入学生、及び在校生の皆さんがたくさんの人々と関わっていく中で自分自身を見つめ、やりたいことに挑戦していけるように願っています。

卒業生生徒表彰

卒業証書授与式の後、「全国高等学校通信制教育研究会長賞」等の表彰を行い、14名の卒業生が受賞しました。

はなむけの行事



卒業式閉式後、卒業生へのはなむけとして和太鼓部が力強い演奏を披露し、会場に迫力ある響きが広がりました。式の余韻が残る中、退場時には在校生や先生方が両側に花道をつくり、一人一人に花を手渡して門出を祝福しました。会場は温かな拍手と笑顔に包まれ、卒業生は新たな一歩を踏み出しました。

進路状況

【進学】

令和7年度、通信制課程の生徒が応募できた学校推薦型選抜（指定校制）対象校は、四年制大学が29校（内、定時制課程との共通枠は18校）、短期大学が12校（全て定時制課程との共通枠）、専門学校が45校（内、定時制課程との共通枠が30校）でした。

指定校制の推薦型選抜は、比較的早い時期に合格が決定するため以前は利用者が多かったのですが、通信制課程ではここ数年、利用者が減少傾向にあります。この一因に、志望校の枠があっても、推薦の校内選考の時期に調査書発行の条件が整っていないことが考えられます。早期から準備を進められるよう校報『陵雲』や「進路だより」を通じた情報提供に努めていきます。

現在の合格者数は別表のとおりです。この他にも国公立大学の前期一般選抜の結果待ちの生徒、後期一般選抜の受験並びに私立大学や専門学校の後期試験の準備を進めている生徒が多数います。

近年の大学入試は、「基礎的な知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」、「主体性・多様性・協働性」がより重視されるようになってきています。以前は入試区分によって人物的要素重視や学力重視の傾向がみられましたが、最近はどの入試区分でも人物的要素と学力をバランスよく評価するようになってきています。

このため出題傾向も、単に「基礎的な知識・技能」を問うものに加え、提示された複数の資料やデータを自身の知識を駆使して分析し考察する能力を問う出題が見られるようになってきています。

【就職】

高卒求人は令和7年度も例年通りの日程で行われました。通信制課程の内定者は8名で、就職活動継続中の生徒も何人かいます。

指定求人は、令和6年度に23社41人と大幅に増加しました。令和7年度は22社37名で前年度に比べると微減ですが、それ以前の件数に比べて増加した状態が続いています。

また、高卒の予定者に対する公開求人の件数も非常に多くなってきていて、今年度の内定者のほとんどは公開求人によるものです。

就職活動は、企業と生徒が巡り合うタイミングのことでもあり、活動開始の時期が早いから良い、遅いから悪いと一概には言えません。就職希望生徒がどの地域でどんな職種を希望するかにより求人件数は多くも少なくもなります。

通常、就職活動が解禁された時点での求人企業数は多く、年が明けたら求人企業数は少なくなるのですが最近は求人倍率が高いこともあり、年明けにも高卒求人を継続している企業が多くみられるようになっています。自分に合った企業に巡り合えるよう、粘り強く就職活動を続けることができるようになってきました。

就職は景気動向の影響を受けやすく、年によって状況が変化します。令和8年度も新しい情報の提供に努めてまいります。

進学の合格状況				入試方法
大学	大阪芸術大学	芸術学部	音楽学科　音楽教育コース	総合型選抜
	大阪工業大学	工学部	応用化学科	一般選抜
	大阪樟蔭女子大学	学芸学部	心理学科	総合型選抜
	関西福祉科学大学	社会福祉学部	福祉創造学科	総合型選抜
	京都芸術大学	文化コンテンツ創造学科	イラストレーションコース（通信制課程）	一般選抜
	京都橘大学	総合心理学部	総合心理学科（通信制課程）	一般選抜
	帝京科学大学	生命環境学部	アニマルサイエンス学科　アニマルサイエンスコース	総合型選抜
	和歌山信愛大学	教育学部	子ども教育学科	学校推薦型選抜
短大	大阪成蹊短期大学	生活デザイン学科	イラスト・アニメ・デザインコース	総合型選抜
専門学校	大阪こども専門学校		保育科	総合型選抜
	大阪府歯科医師会附属歯科衛生士専門学校		歯科衛生士学科	学校推薦型選抜
	大阪ペピイ動物看護専門学校		動物看護総合学科	総合型選抜
	大原情報医療保育専門学校和歌山校		医療事務系　医療事務コース	総合型選抜
	大原情報医療保育専門学校和歌山校		情報IT系　システム開発コース	総合型選抜
	大原情報医療保育専門学校和歌山校		マンガ・イラスト系　イラストレーションコース	総合型選抜
	大原簿記法律＆美容製菓専門学校和歌山校		ブライダル系　ウェディング総合コース	総合型選抜
	大原簿記法律＆美容製菓専門学校和歌山校		ブライダル系　ドレススタイリストコース	総合型選抜
	国保野上厚生総合病院附属看護専門学校		看護学科	総合型選抜
	日高看護専門学校		看護学科	一般選抜
	和歌山YMCA国際福祉専門学校		介護福祉科	総合型選抜
	和歌山県立和歌山産業技術専門学院		自動車工学科	一般選抜
	和歌山高等美容専門学校			一般選抜
	和歌山コンピュータビジネス専門学校		IT科　アニメーション制作コース	学校推薦型選抜
	和歌山コンピュータビジネス専門学校		IT科　システムエンジニアコース	総合型選抜
	和歌山コンピュータビジネス専門学校		IT科　ITエキスパート科	総合型選抜
	和歌山県農林大学校		林業研修部	一般選抜

就職の内定状況			求人種類
企業	有限会社	ZEAL ENTERPRISE〔美容師アシスタント〕	高卒求人
	株式会社	ニチイ学館〔医療事務〕	高卒求人
	社会福祉法人	寿敬会〔介護職員〕	高卒求人
	社会福祉法人	桃の木会　障害福祉サービス事業マルワック〔工場勤務〕	高卒求人
	株式会社	ヤマヨジャージィ〔ニット生地検査〕	高卒求人
	株式会社	インテリックス〔カーテン縫製加工〕	高卒求人
	ワタキューセイモア株式会社　近畿支店〔洗濯仕上げ作業〕		高卒求人
	ラポール株式会社〔納棺師〕		一般求人

※進路状況は、令和8年2月27日現在です。

令和８年度当初の日程

（時間はあくまでも予定です）

日	行　事	健康診断関係（変更になる場合もあります）
４月12日（日）	在校生登校・ホームルーム （２・３年生10：00～、４年生９：00～） 教科書・学習書受取り（11:00～13:00） **※３月に受講指導を受けていない場合は、担任にあらかじめ相談してください。**	身体測定、内科検診、眼科検診 **「内科・眼科検診事前調査」**を持参してください。
４月19日（日）	**入学式** 受講指導、教科書・学習書購入申込み（入学生） **※在校生は登校する日ではありません。**	胸部Ｘ線・心電図（１年生、入学式後）
４月20日（月）	受講指導、教科書・学習書購入申込み（入学生）	
４月21日（火）	受講指導、教科書・学習書購入申込み（入学生）	
４月24日（金）	入学生教科書・学習書受取り（14:00～15:30）	
４月26日（日）	入学生オリエンテーション、ホームルーム 特別スクーリング、対面式・クラブ紹介 教科書・学習書受取り予備日（9:50～11:00） **※日程・時間割は在校生には４月１２日、入学生には４月１９日に配布します。**	身体測定、内科検診、眼科検診 （入学生、13:10～予定） **「内科・眼科検診事前調査」**を持参してください。 尿検査（8:30～12:00、玄関ホールに提出）

◎５月からの日曜・月曜スクーリングの時間割は校報『陵雲』５月号で確認してください。

日本スポーツ振興センター加入について

日本スポーツ振興センター（災害共済掛金）はスクーリング、学校行事等で負傷した際、医療費等が給付されます。

本校においては、全員加入となっています。

４月26日（日）までに、申込書に249円を添えて（おつりのいらないように）事務室まで申し込んでください。

定期健康診断について

全員、必ず健康診断を受けてください。

※日程は同封の「ほけんだより」を確認してください。

◎特に、卒業予定者は進学・就職先から健康診断結果の提出を求められる場合があります。

◎未検の場合は、受診勧告を行います。その際の受診費用は自己負担となります。

クラブ活動を通して学校生活を充実させよう

今までクラブ登録をしていなかった人も、本年度はクラブ活動に参加してみませんか。

活動の中で新しい出会いや経験を通じて、充実した学校生活を送ってくれることを期待しています。

在籍期間のお知らせ

本校の在籍できる期間は最長で８年度間です。平成31・令和元年度入学生は、令和８年度末で卒業できない場合は除籍になります。期間中に卒業できるように努力しましょう。

登校時には必ず「生徒証明書」を携帯しましょう。
「生徒証明書」の有効期間は１年間です。
４月より新年度の「生徒証明書」が必要となります。

きのくに青雲高校生以外
学校敷地内立入禁止



学校敷地内及び学校付近は
喫煙できません。
特に学校付近での喫煙は、
近隣住民の皆さんに迷惑となります。



自転車に乗るときは安全のために
ヘルメットをかぶりましょう！
事故の被害を軽減することができます。
ヘルメットは、正しく着用しましょう！

